

令和4年度がスタートしました。今年度は2コース6フィールドによる新たな教育体制に加え、夏の校舎移転と、将来を見据えた新生龍谷構築の大きな節目の年となります。

その過程を出来る限りリアルタイムに伝えられるよう、校長室からも日頃の「雑感」を簡単に綴ってまいります。ご笑覧いただけましたら幸いです。

**One for all, All for one. No.30**

#### R4. 6.1 「授業実践」

ICT活用推進委員会が中心となり、授業の工夫を図るため、タブレットを活用した授業実践を定期的に行っています。任意での参加なのですが、定期試験の生徒下校後の時間帯ということもあって多くの先生方が参加していました。

指導教科は異なりますが、端末を活用しながらの新しい授業形態には、多くのヒントが隠されているようです。

Society5.0 社会に求められる力の育成には、教科横断的な学習内容に加え、修得・活用・探究のバランスを考えたカリキュラムマネジメントが要求されます。

生徒の主体的、対話的で深い学びを引き出すための学習内容や学習形態は時代の流れとともに多様化していきます。魅力ある教科指導のための学びは、私たち教職員にとって欠かせなものとなっています。



**One for all, All for one. No.31**

#### R4. 6.3 「準備は万全！」

全国各地で行われている吹奏楽の祭典に中でも、最大級の規模の誇る「北海道音楽大行進」。コロナ禍でここ数年実施が見送られていただけに、「今年こそは」と楽しみにしていましたが、なんと出張と重なり涙を呑む結末に・・・。



それではと、前日の練習風景を見に行くと、行進に合わせテンポのよいリズムがとても心地よく響いてきました。

初夏の清々しい気分を味わうとともに自然とテンションが上がります。直に聞く楽器の音色は本当にいいものです。

明日の天気は曇りで気温も低いとの予報ですが、部員の皆さんの力強い演奏が多くの観客を魅了してくれるものと確信しています。

**One for all, All for one. No.32**

#### R4. 6.9 待望の「応援歌」が完成！

これまでオリジナルの応援歌を持っていないことから、今夏の校舎移転に間に合うよう昨年からの作成準備にかかり、本日その完成披露会を行いました。

歌詞には本校と関りの深い言葉が数多く盛りこまれ、気持ち高ぶる歯切れのよい素晴らしい楽曲に仕上がっています。それもそのはず、この応援歌を作られたのは、日本を代表する音楽クリエイターのヒヤダインさんです。本日の披露会には、なんとご本人が登場するサプライズもありました。

コロナ禍で各教育活動が縮小や中止を余儀なくされ、なにかと暗い気持ちになりがちな昨今において、ヒヤダインさんの登場やお話は、生徒たちの気持ちを晴れやかに元気づけるものとなりました。学校を代表して心より感謝申し上げます。

応援歌は気持ちを鼓舞するだけでなく、応援する者と応援される者の心をつなげる大きな力を持っています。

生徒にはこの応援歌に慣れ親しみ、龍谷生としての誇りを胸に、学校全体の絆を一層深めてくれることを強く期待しています。



**One for all, All for one. No.33**

#### R4. 6.13 「開校記念日」

本校の開校記念日は6月13日です。5月の連休あたりに設定している学校が多い中、この日を記念日としたのには次のような経緯があります。

### 開校記念日



本校の創始者慶誠寺第三世住職は、現在の理事長の祖父にあたる石田学而氏です。昭和33年4月に本校を開校して以来、「人柄の龍谷」として多くの卒業生を輩出してきました。

開校記念日を定められたのは昭和35年のことです。

石田学而氏のご尊父でいらっしゃる石田慶封師が遷化された昭和27年1月13日から、遺徳を偲んで13日を、そしてご母堂が愛でられた花々が美しく咲く季節6月とを組み合わせて、6月13日を開校記念日と決めました。

開校記念日を通して縁のある方々に心を偲ばせ、自らが生かされていること、そして、その命を大切にしなければならないことを実感して欲しいと思います。

**One for all, All for one. No.34**

#### R4. 6.14 「元気いっぱい！」

6月は運動会シーズン。廊下からグラウンドを眺めると小さな子供たちの明るく元気な声が響いてきます。学校に隣接した保育園の皆さんが本番に向けて練習をしていました。先生方のお手本に合わせて、子どもたちが一生懸命にからだを動かしている姿は本当に微笑ましいです。



この純粋な子どもたちを見ていて、未来も平和で明るいものでなければならぬとつくづく思います。その輝く未来づくりを生徒とともに考えることは私たちの使命でもあり、出来ることから一つずつ形にしていきたいと考えています。

**One for all, All for one. No.35**

#### R4. 6.14 「オリンピック選手」

本校卒業のスキージャンパー 勢藤 優花さんが、お忙しいところ時間を割いて学校に立ち寄ってくれました。勢藤さんは高校時代に既に日本代表に選ばれた程の実力の持ち主で、ワールドカップ等国際大会をはじめ、平昌オリンピック、北京オリンピックにも出場した日本を代表する凄い選手です。



ジャンプを始めたきっかけやジャンプに臨む際の気持ち、ジャンプに対する考え方の変化、今後の取り組み等についてお話しくださいました。その言葉の一つ一つに重みがあり、様々な観点からジャンプと真摯に向き合う姿にとっても感動しました。また、決して安易な道を選ぶのではなく、常に厳しい道を志す精神の強さと人間としての深みにも感服しました。

今後も現役を続けられる 勢藤さんを学校をあげて応援していきますし、益々のご活躍を心より願っています！

**One for all, All for one. No.36**

#### R4. 6.15 「教育実習」

将来教職の道を志す本校卒業生が教育実習に訪れ、多い年には10名ほどの大学生が本校教諭の指導を仰ぎながら実務を身につけていきます。先陣をきって来校されたのは、桐蔭横浜大学スポーツテクノロジー学科に席を置く 千葉 初磨 先生。

高校時代は柔道部に所属し全国大会に出場するなど、3年間文武両道を貫きました。現在も現役選手として活躍し、実業団への進路希望も併せ持ちながら、教員免許取得に努めています。

「スポーツを通して培った積極性と責任感を忘れることなく、多くの生徒に主体的に行動することの大切さを伝えていきたいです！」と3週間の抱負を誠実に語ってくれました。



**One for all, All for one. No.37**

#### R4. 6.15 「企業説明会」

就職希望者を対象としたキャリア学習の一つ、ジョブカフェ主催の「企業説明会」に、3年生就職希望者17名が参加してきました。事前に、どんな仕事が自分に向いているかを考えたり、助言を通して自己理解を深める学習を行ってきました。

会場となったトーヨーホテルには、主に道内から30社以上の企業が集まり、生徒は自





分の興味・関心のある企業や職種のブースで説明を聞きます。生涯携わるかもしれない職種とのミスマッチを防ぐことや、具体的な業務内容を理解することで仕事に対する視野を広げてもらうことがねらいです。

公務員試験の申込みがまもなく始まり、続いて民間企業採用試験がすぐにやってきます。就職希望者にとっては一日たりとも無駄にできない日々となりますが、自分を信じ、何事にも積極的に挑戦する意欲を持ち続けて欲しいと思います。

#### One for all, All for one. No.38

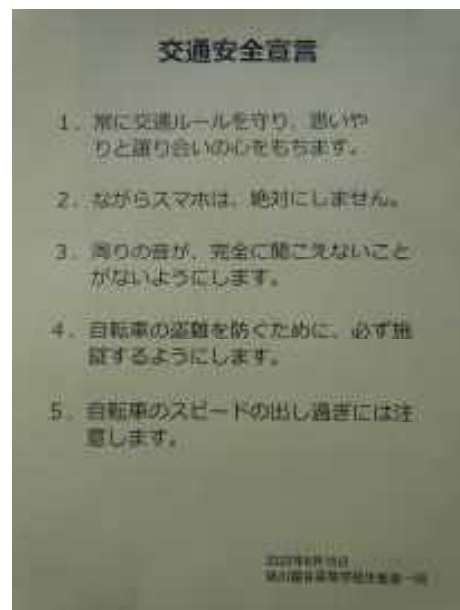
#### R4. 6.15 「交通安全教室」

街中を徒歩や自転車で登下校する生徒の交通事故は絶対に避けなければなりません。もちろん加害者側の一方的な過失だけではどうすることもできませんが、生徒自らが日常的に安全意識を高く持つことで、事前に危険を察知し事故を回避することはできます。

また、自転車運転のマナーを守ることは、自分の身を守るだけでなく、逆に自分が加害者になることを防ぎます。特に最近、中高校生による「ながら」運転による事故が多発しています。「スマホを見ながら、よそ見をしながら、並走しながら、傘をさしながら、飲食しながら」など、ちょっとした油断が取り返しのつかない事故を引き起こします。

このたびは、東警察署、クミアイ自動車学校、消防本部指令課、防災安全部交通安全課の皆様のご協力で、実験映像等を交えてのご講義を行っていただきました。

最後に生徒会総務部が「交通安全宣言」を読み上げ、全校生徒で交通安全を心がけることを誓い合い締めくくりました。



#### R4. 6.19 「まちなかキャンパス」

#### One for all, All for one. No.39

18日・19日と二日間にわたり買物公園で開催された「まちなかキャンパス 2022」に本校から郷土部が参加しました。市民が世代を超えて様々な課題を共に考えたり、改め



て地元の良さに触れたり、体験から新しい発見を見出したりと、皆が豊かで生き生きとした生活を送れるようにと考案されたイベントです。SDGs やユネスコの理念も織り込まれ、市の象徴的な催しとなっています。

本校郷土部は「アイヌ文化体験」と題して、子どもたちを対象にアイヌ伝統楽器「ムックリ」の作製と演奏手法の伝授を行いました。

郷土部を牽引する2年生 野瀬 暖人君と丸山 絆愛君から話を聞くことができました。

「アイヌ文化は奥が深く、調べていくと感動することばかりです。当時の道具を実際に作り使ってみることで、相手を思いやる心、自然との共生の大切さ、全ての生き物の命の尊厳などに触れることができます。今回はその一端を子どもたちに伝えたいと思い参加しました。」と語ってくれました。

郷土部は本校を代表する伝統と実績を持つ部です。より多くの生徒の皆さんに彼らのような感動を体感して欲しいと思います。新校舎では新しい部室も開設しますので、多くの生徒の皆さんが入部してくれることを願っています。



#### R4. 6.20 「学校公開デー」

One for all, All for one. No.40

日頃のお子様の様子を直に見ていただきたく、3・4校時に「学校公開デー」を開催しました。以前は、高校にはなんとなく入りづらいという風潮があったようですが、昨今は多くの保護者の皆様にご来校いただき、大変ありがたく、また嬉しく思っています。



今年は中学生対象の説明会と日程が重なり、準備が十分に行き届いていない箇所が多々見受けられ、ご来校いただいた保護者の皆さまには大変ご不便をおかけしました。

分散授業でお子様の学習場所がわかりづらかったり、講習用の座席表が掲示されたままになっていたため誤解を招くなど、改善点が多く見つかりました。

この場をお借りしお詫び申し上げますとともに、次回お越しの際は、気持ちよくご参観いただけるよう努めてまいります。今後とも多数の皆様のご来校をお待ちしています。

#### R4. 6.20 「全道大会出場でまた成長！」

One for all, All for one. No.41

全道大会から戻った選手の皆さんが校長室に結果報告に来てくれました。

苫小牧で開催の女子バスケット部は地元の苫小牧中央に 58 対 63 といま一步のところでの惜敗。それでも強豪校と互角に戦える力が実証できたことは大きな収穫。次回のリベンジに燃えていました。



北見で開催の女子バレー部は最後まで粘り強く戦いながらも、ブロックトーナメントで札幌大谷に惜敗。結果ベスト8となりましたが、選手たちの伸びしろを考えると、さらに上を目指して頑張ってくれることでしょう。

函館で開催の剣道部は、男子団体で堂々の全道3位。準決勝で今大会優勝した東海大附属と対戦。破れこそしましたが、北北海道の代表として最後まで力を尽くしてくれました。個人戦では3年生幸田君がベスト8、信田君がベスト16（優秀選手賞）と素晴らしい成績を収めてくれました。



それぞれに悔しい思いもあるのかもしれませんが、全道という大舞台で活躍された選手の皆さんの日々の努力に心から敬意を表します。部活動は勝敗こそつきませんが、そこまでの過程が人間を大きく成長させるものです。これからも社会に貢献できる人材として自分自身の中で優勝を目指しましょう！

#### R4. 6.20 「掴んだ！インターハイ」

One for all, All for one. No.42

釧路市で行われた高等学校陸上競技選手権では長距離・短距離ともに好成績を収め、多くの種目でインターハイ出場の切符を手に入れました。



「男子4×100mリレー」で5位（3年小川君、2年安藤君、柳瀬君、門脇君）、「女子800m」で3年工藤さんが2位、1年藤田さんが5位、「女子1500m」で3年石川さんが優勝、2年益塚さんが2位、中野さんが6位、「女子3000m」で、同じく石川さんが優勝、益塚さんが2位、中野さんが3位、「女子走り幅跳び」で2年須藤さんが4位、「女子三段跳び」で、同じく須藤さんが優勝と、素晴らしい好成績で徳島でのインターハイ出場を決めました。

長距離に加え、創部間もない短距離でも全国出場選手が誕生したことは嬉しい限りです。陸上部は中学生からの人気も高く、これからが益々楽しみです。

#### R4. 6.21 「合唱部も栄冠！」

One for all, All for one. No.43

高等学校音楽発表大会で、合唱部が念願の「最優秀賞」を受賞しました。旭川東さん、旭川藤星さんといった実績ある名門校をおさえ、見事栄冠を手にした合唱部の皆さん、「あっぱれ！」です。

総勢25名の部員をまとめる部長の坂東虹音さん、副部長の藤澤えみりさん、阿部葵君、曾根穂夏さん（いずれも3年生）の皆さんに、部を代表してお話を伺いました。

曲は谷川俊太郎さんの詩を合唱曲にした『私が歌う理由（わけ）』。言葉の一つ一つをはっきりと表現し、聴衆の方々に詩の中に織り込まれた深い心情を伝えることに苦労したと言います。そのために、発声練習はもちろん表情作りも大切な要素と教えてくれました。

歌い終わった後は、やり遂げたという充足感に浸り、そして結果を聞いたときは心臓がドキドキしたと言います。まさに青春、本当によく頑張りました！



One for all, All for one. No.44

#### R4. 6.21 「校内進路ガイダンス」



3年生にとって進路を決定する大切な時期となりました。午後の時間帯に体育館・軽スポーツ教室を全面使用し、キャリアデザインコースを対象とした進路ガイダンスを開催しました。

80以上の国公立大学・私立大学・専門学校・大手企業が一堂に会し、生徒たちが興味関心のあるコースで概要説明や進路相談を受けます。

本校では、こうしたガイダンスを時期に合わせて定

期的に行っていますが、中でも最大規模となるこのイベントは、進路を決定する上で欠かせない行事となっています。パンフレットや各種資料からも内容を調べることはできますが、関係者から詳細を直に聞くことで進路希望は大きく変わります。

今後は保護者を交えた三者面談を予定しています。将来を左右する進路を真剣に考え、その実現に向けてやるべき事に集中してくれることを願っています。